

2021年 第23週（6月7日～6月13日）の感染症発生動向調査情報を送付します

<今週の内容>

- 1 管内の発生状況
- 2 発生から見る注意点
 - 1) 定点あたり患者数は、例年に比べて少ない状況で推移しています
 - 2) 感染性胃腸炎の発生が続いています
 - 3) RSウイルス感染症が県下で発生が続いています
 - 4) マダニに注意しましょう
県内で重症熱性血小板減少症候群(SFTS)が発生しています
- 3 新型コロナウイルス感染症について
 - 1) 緊急事態宣言（～6/20）
まん延防止等重点措置(6/21～7/11)
 - 2) 新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口及び「発熱等受診・相談センター」
- 4 HIV・エイズ、B型・C型肝炎、梅毒検査の実施について

1 管内の発生状況

- 1) 定点把握感染症（指定された医療機関から報告を求める感染症）（報告のあった全疾患）

(表1)

	疾患名	定点あたり患者数			増減 (今週－先週)
		今週	先週	先々週	
1位	感染性胃腸炎	5.00	11.00	4.50	-6.00

2 発生から見る注意点

- 1) 定点あたり患者数は、例年に比べて少ない状況で推移しています
- 2) 感染性胃腸炎の発生が続いています

感染性胃腸炎は、年間を通じて発生し、ノロウイルス、ロタウイルス等多種多様な原因により起こります。ウイルスは患者の便や吐物中に大量に含まれており、強い感染力をもっています。また、症状がなくなった後も通常1週間程度、長い時には1か月ほど便中にウイルスが排出されるため、症状消失後も注意が必要です。

手洗いの徹底、吐物処理の徹底、貝類等は十分加熱して食べる等、感染拡大防止にご配慮ください。

ノロウイルスに関するQ&A（厚生労働省HPより）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

- 3) RSウイルス感染症が県下で発生が続いています

定点あたり患者数は今週2.89人（先週2.32人）と過去5年間の同時期と比較して、かなり多い状況で推移しています。

管内での発生は見られていませんが、直近の5週間に県内の定点医療機関から報告された患者1,132人の年齢分布では、1歳28%、2歳25%、0歳及び3歳が各17%の順で多く、0～3歳が全体の87%を占めています。

RSウイルスを病原体とする呼吸器感染症で、2歳までにほぼ全員が感染しますが、その後も感染を繰り返します。乳幼児の肺炎及び気管支炎の重要な原因となっていて、特に心肺等に基礎疾患があると重症化しやすいといわれています。手洗いやうがいを徹底し、乳幼児が呼吸器症状を示した場合は早めに医療機関を受診することが重要です。

4) マダニに注意しましょう

県内で重症熱性血小板減少症候群(SFTS)が発生しています。

人が野外作業や農作業、レジャー等で、これらのダニの生息場所に立ち入ると、ダニに咬まれることがあります。ダニがウイルスや細菌などを保有している場合、咬まれた人が病気を発症することがあります

特にマダニの活動が盛んな春から秋にかけては、マダニに咬まれる危険性が高まります。草むらや藪など、マダニが多く生息する場所に入る場合には、長袖・長ズボン（シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる、または登山用スパッツを着用する）、足を完全に覆う靴（サンダル等は避ける）、帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等、肌の露出を少なくすることが大事です。

服は、明るい色のもの（マダニを目視で確認しやすい）がおすすめです。

虫除け剤の中には服の上から用いるタイプがあり、補助的な効果があると言われています。また、屋外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないか確認して下さい。特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部（髪の毛の中）などがポイントです。

3 新型コロナウイルス感染症について

兵庫県内では、第23週は310人（先週529人）の新型コロナウイルス新規感染者で減少が継続しています。

緊急事態宣言については、新規感染者数が減少し、医療供給体制のひっ迫状態も緩和してきたとして6月20日の期限をもって解除、前回、宣言解除後すぐにリバウンドがおきたこともあり、6月21日～7月11日まん延防止等重点措置期間となりました。

また、兵庫県内では、アルファ株（英国で最初に検出された変異株）に加えて、デルタ株（インドで最初に検出された変異株）など、感染性や重篤度が増す・ワクチン効果を弱めるなど性質が変化した可能性のある株による感染も報告されています。気を緩めずに、自分自身や大切な人の命を守るために、マスクの着用、手洗いや手指消毒、3蜜の回避等感染防止対策を徹底し、一人ひとりが「うつらない・うつさない」との強い思いで取り組むことが大切です。

1) 緊急事態宣言（～6/20）

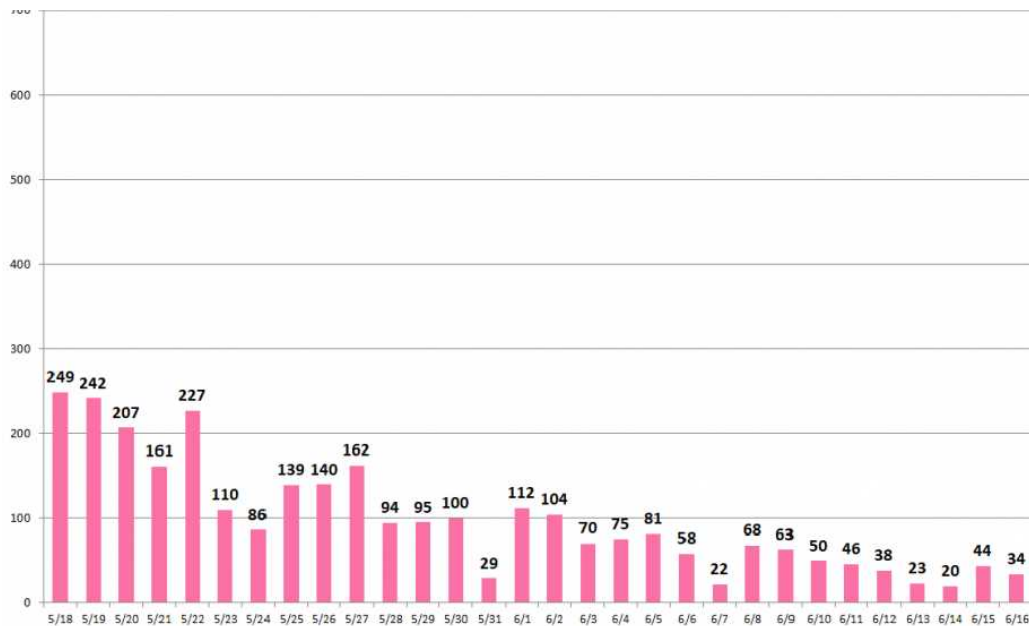
まん延防止等重点措置(6/21～7/11)

兵庫県への緊急事態宣言は6月20日(日)をもって解除され、6月21日(月)から7月11日(日)までの間、まん延防止等重点措置区域となります。このことは新規感染者数の大きな減少や医療体制の安定が進みつつあっても、変異株の脅威などは今後も予断を許さず、引き続き警戒し感染収束に向けて取り組んでいく必要があります。気を緩めず、感染対策の取組にご協力をお願いします。

【直近1週間平均患者数】

	6月11日	6月12日	6月13日	6月14日	6月15日	6月16日	6月17日
新規陽性者数:1週間平均(人)	55.4	49.3	44.3	44.0	40.6	36.4	34.9
重症者用病床の使用率(%)	43.3	44.1	42.6	41.9	27.2	26.4	-

【直近1ヶ月の陽性件数の推移（5/18～6/16）】



兵庫県内の新型コロナウイルスに感染した患者の発生状況

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk03/corona_hassei_jyokyo.html

皆様へのお願い

①家庭での感染防止対策

新規感染者数の6割が家庭です。感染対策を徹底してください。

- 会食などリスクの高い行動の自粛やマスク着用等の基本的な感染対策の徹底など「ウイルスを家庭に持ち込まない」行動をしてください。
- 帰宅後の手洗い、換気の実施、発熱者がいる場合の個室の確保や共有部分の消毒など「ウイルスを家庭内に広げない」行動をしてください。
- 毎日の検温など家族の健康管理、発熱等の症状がある場合のかかりつけ医への相談など「ウイルスを家庭外に広げない」行動をしてください。
- 児童・生徒等は無症状であっても、家族に症状(発熱など)がある場合やPCR検査を受けている場合は、当該児童・生徒等の通学を自粛させてください。

②外出の自粛

感染リスクの高い危険な行動は絶対にやめてください。

- 大阪など県境を越えた感染拡大地域との往来を自粛してください。特に休日は生活維持に必要な場合を除き外出を自粛してください。
- 酒類又はカラオケ設備を提供している飲食店等や、時短要請時間外に営業している飲食店等には、絶対に出入りしないでください。
- 飲食店等への酒類の持ち込みは絶対にやめてください。
- コンビニ等から酒類を購入し、店先や路上、公園などでの飲酒は絶対にやめてください。

感染拡大を予防する「日常生活」(ライフスタイル)



(兵庫県) 新型コロナウイルス感染症の対応について

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/kk03/200129.html>

新型コロナウイルスの感染拡大を予防する「ひょうごスタイル」の推進

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk42/hyogo-style.html>

2) 新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口及び「発熱等受診・相談センター」

時間	機関	電話番号
平日 9 : 00~17 : 30	朝来健康福祉事務所	079-672-0555
平日・休日 24 時間	新型コロナ健康相談コールセンター	078-362-9980

新型コロナウイルス感染症に関する情報については、以下のホームページ等で随時更新されています。

1 厚生労働省 新型コロナウイルス感染症について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

2 国立感染症研究所 新型コロナウイルスに関連する情報

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc/2482-corona/9305-corona.html>

3 兵庫県新型コロナウイルス感染症について

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/kf16/singatakorona.html>

4 新型コロナウイルスの対応について

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/kk03/200129.html>

4 HIV・エイズ、B型・C型肝炎、梅毒検査の実施について

<問合せ先・予約先>朝来健康福祉事務所

電 話 079-672-0555

ホームページ <https://web.pref.hyogo.lg.jp/tjk08/asagoeizukensa.html>

メー ル asagohokensho-aids@pref.hyogo.lg.jp

実 施 日 7月実施日 7月 1日(木)、7月15日(木)